

令和 8 年度 **地理総合＋地理探究** (01コア・03プラス)

試験開始の合図があるまでに、次の注意をよく読んで、間違いのないように受験してください。

1. 試験開始の合図があるまで冊子を開かないでください。
2. この冊子は問題16ページです。別に、解答用紙 2 枚(そのⅠ・そのⅡ)をセットで配付します。
3. 試験開始の合図があったら、問題のページ数を確認し、解答用紙をミシン目で折ってていねいに切り離し、すべての解答用紙に受験番号を記入してください。
4. 問題・解答用紙に落丁、乱丁、印刷不鮮明などの箇所がある場合には申し出てください。
5. 解答用紙は、黒鉛筆(シャープペンシル可)のほか、黒・青の万年筆またはボールペンを使用してもかまいません。
6. 文字ははっきり、ていねいに書いてください。
7. 解答用紙の点数欄には何も記入しないでください。
8. 使用していない解答用紙は机の上に裏返しにしてください。

I 問1

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

小計

そのⅠ計

II 問1

A	B1	B2	B3	C1
C2	C3	C4	C5	D1
D2	D3	E1	E2	

問2

--	--	--	--	--	--	--	--	--

問3

(1)

A	B	C
---	---	---

(2)

--

問4

--

小計

III 問1

--

問2

(1)

D	E	F
---	---	---

(2)

①	②
---	---

問3

(1)

--

(2)

--

問4

--

小計



Ⅳ

問1

県

問2

問3

湖

問4

問5

問6

問7

そのⅡ計

小計

Ⅴ

問1

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

問2

問3

問4

問5

小計

Ⅵ

問1

(1)

①

②

③

④

⑤

(2)

(3)

①

②

問2

(1)

A

B

C

D

E

F

(2)

①

②

小計



調査と調査と調査の...
 の...
 (A01) ...

調査	調査	
調査と調査 (⑧) の調査調査・	調査と調査 (①) ・	調査調査
調査と調査 (⑥) の調査調査・	調査と調査 (④) ・	調査
調査と調査 (③) の調査調査調査・	調査と調査 (②) ・	調査
調査と調査 (⑤) の調査調査調査・	調査と調査 (⑦) ・	調査
調査と調査 (④) の調査調査調査・	調査と調査 (⑥) ・	調査
調査と調査 (③) の調査調査調査・	調査と調査 (⑤) ・	調査
調査と調査 (②) の調査調査調査・	調査と調査 (④) ・	調査
調査と調査 (①) の調査調査調査・	調査と調査 (③) ・	調査

調査	調査	調査	調査	調査	調査	調査	調査
調査	調査	調査	調査	調査	調査	調査	調査

問題は次のページより始まります。

Ⅰ 次の表は、航空機、船舶、鉄道、自動車についてのそれぞれの長所と短所を整理したものである。空欄の①～⑩に該当する語句を下の枠内から選び、ア～シの記号で答えなさい。ただし、①～⑩の解答はすべて異なるものである。(10点)

	長所	短所
航空機	・ (①) 性がある。 ・ 輸送中は (②) の制約を受けない。	・ 空港周辺の (③) 問題がある。 ・ 輸送費が高い。
船舶	・ (④) 輸送が可能である。 ・ 輸送費が安い。	・ 輸送に (⑤) がかかる。
鉄道	・ 発着時刻が安定していて (⑥) 性がある。 ・ (⑦) への負荷が小さい。	・ (②) の制約を受ける。 ・ 路線建設に (⑧) がかかる。
自動車	・ 手軽な (⑨) 性がある。 ・ (⑩) 輸送が可能である。	・ 渋滞や事故が多発する。 ・ (⑦) への負荷が大きい。

ア 費用	イ 騒音	ウ 環境	エ 迅速	オ 時間	カ 利便
キ 気候	ク 空中	ケ 定時	コ 地形	サ 大量	シ 戸口

Ⅱ 南アジア地域に関する次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。(20点)

南アジアの地体構造は、大陸プレートの (A) 境界での褶曲によって形成されたヒマラヤ山脈や (B1) 山脈など新期造山帯に属する北部、ガンジス川流域の (B2) 平原など広大な沖積平野が広がる中部、大インド (タール) 砂漠や (B3) 高原など安定陸塊に属する半島部分の南部の3つに大別される。

南アジアの気候は、 (C1) に覆われるインド半島北西部から西ガーツ山脈の東側一帯にかけての乾燥気候と、インド半島の東側一帯における (C2) によってもたらされる明瞭な (C3) 季と乾季によって特徴づけられる。すなわち、夏季に (C4) から吹く (C2) によって (C3) 季となり、 (C5) から吹く冬季にはその逆の気候となる。

南アジアの国々は18～19世紀にイギリスによる植民地支配を受けたインド帝国とその周辺国によって構成される。インド帝国は1947年に (D1) 教徒の多いインドと、 (D2) 教徒の多いパキスタンに分離独立した。このインドとパキスタンの独立を巡っては、 (D2) 教徒が多く住む (B1) 山脈の南側一帯を治めていた藩王 (マハラジャ) が (D1) 教徒であったことから、今日に至るまでインドとパキスタンの間で根深い対立が続いている。

一方、インドを挟み東西に分かれていたパキスタンのうち、 (E1) 人が多い東側は1971年にバングラデシュとして分離独立を果たした。また、イギリスの直轄植民地で (D3) 教を信仰する (E2) 人が多いスリランカは1948年に独立したのち、1972年、1978年の2度にわたって国名を改めた。

2023年に14億人を超える世界一の人口大国となったインドでは、近年、急速に経済発展が進み、アジア、アフリカ、中南米地域の新興国・開発途上諸国のリーダー的存在として、国際政治・経済の舞台においてその存在感を増している。

インドでは多様な自然環境を背景として様々な農作物が生産されている。植民地時代からの商品作物の栽培と豊富な労働力が結びつき、ムンバイの綿工業やコルカタのジュート工業など繊維工業が発達した。一方、安定陸塊を基盤とするインド半島は石炭や鉄鉱など鉱物資源に恵まれ、古くから国内資本による製鉄所が建設されるなど、独自路線での工業化が進められてきた。1990年代以降は外国資本や技術も

導入され、自動車工業をはじめとする機械工業や、とりわけ近年は情報通信技術^Z (ICT) 産業の分野を中心に著しい経済成長がみられる。

問1 文中の空欄 (A) は下の【語群】のA群、空欄 (B1～3) は【語群】のB群、空欄 (C1～5) は【語群】のC群、空欄 (D1～3) は【語群】のD群、空欄 (E1～2) は【語群】のE群からそれぞれ適当な語句を選び、記号で答えなさい。

【語群】

- A群 a ずれる b せばまる c 広がる
- B群 a アフリカ b アラビア c カラコルム d チベット
e デカン f パミール g ヒンドスタン h メソポタミア
- C群 a 亜熱帯 (中緯度) 高圧帯 b 亜寒帯 (高緯度) 低圧帯
c 赤道収束帯 d サイクロン e フェーン f モンスーン
g 南西 h 北東 i 雨 j 乾
- D群 a イスラム b キリスト c 上座 (南伝) 仏
d チベット仏 (ラマ) e ヒンドゥー f ユダヤ
- E群 a アーリア b シンハラ c タガログ d ベンガル
e マレー

問2 文中の下線部Xに関して、「アジア、アフリカ、中南米地域の新興国・開発途上諸国」を9文字以内のカタカナで別の語句に置き換えなさい。(濁点等はかなと合わせて一文字に数える)

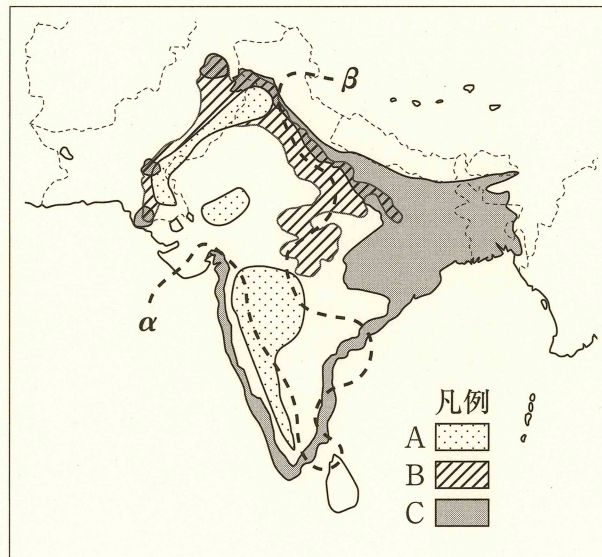
問3 以下に示す南アジアの地図を見て、次の(1)、(2)の設問に答えなさい。

- (1) 文中の下線部Yに関して、農作物の主な栽培地域を表した凡例A～Cに当てはまる農作物を下の語から選び、あ～えの記号で答えなさい。

あ 稲 い 小麦 う サトウキビ え 綿花

- (2) 図中にある点線 α --- β は年降水量を表している。この線の示す値として適当なものを下から選び、あ～えの記号で答えなさい。

あ 250mm い 500mm う 750mm え 1000mm



問4 文中の下線部Zに関して、インドで情報通信技術（ICT）関連の工業発展が急速に発展した地理的要因として適当でないものを下から1つ選び、a～dの記号で答えなさい。

- a アメリカ合衆国との時差を活かして長時間のソフトウェア開発やコールセンターの稼働が可能になる。
- b 植民地支配という歴史的背景により、世界標準の言語が普及している。
- c インド社会に古くからある世襲的職業をもつ社会集団（ジャーティ）の1つとして通信技術に携わる職種が存在した。
- d 理数系に重点が置かれた教育カリキュラムが普及している。



Ⅲ 日本の水産業に関する以下の設問に答えなさい。(15点)

問1 次の表は、日本における海面漁業生産量を示しており、表中A～Cは、遠洋漁業、沖合漁業、沿岸漁業のいずれかである。表中A～Cの組み合わせとして正しいものを、以下の あ～か より1つ答えなさい。

(単位：千t)

	1990年	2000年	2010年	2020年	2022年	2023年
A	1,992	1,576	1,286	871	886	871
B	6,081	2,591	2,356	2,046	1,804	1,801
C	1,496	855	480	298	262	254
海面養殖業	1,273	1,231	1,111	970	912	852

出典：『日本国勢図会 2025/26』

- あ A：遠洋漁業，B：沖合漁業，C：沿岸漁業
い A：遠洋漁業，B：沿岸漁業，C：沖合漁業
う A：沖合漁業，B：遠洋漁業，C：沿岸漁業
え A：沖合漁業，B：沿岸漁業，C：遠洋漁業
お A：沿岸漁業，B：遠洋漁業，C：沖合漁業
か A：沿岸漁業，B：沖合漁業，C：遠洋漁業

問2 次の表は、日本における主な魚介類の都道府県別生産割合（2023年）を示している。以下の(1)、(2)の設問に答えなさい。

(単位：％)

まぐろ類		D		E		F		養殖うなぎ	
①	16.4	①	29.4	北海道	27.6	②	49.9	鹿児島県	42.8
宮城県	13.3	宮城県	10.5	鳥取県	12.0	青森県	24.1	愛知県	20.8
宮崎県	11.4	高知県	10.3	②	11.5	茨城県	14.4	宮崎県	18.3

出典：『日本国勢図会 2025/26』

(1) 表中D～Fに該当するものを、次の あ～え よりそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

あ かつお類 い しじみ う かに類 え いわし類

(2) 表中①，②に該当する都道府県をそれぞれ1つ答えなさい。

- 問3 次の図は、北海道におけるさんま・ぶり類の漁獲量を示している。以下の(1)、(2)の設問に答えなさい。

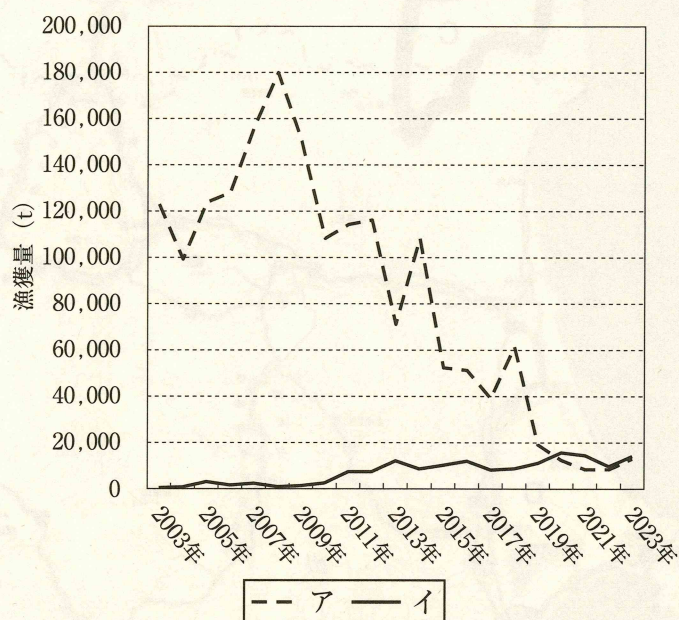


図 北海道におけるさんま・ぶり類の漁獲量

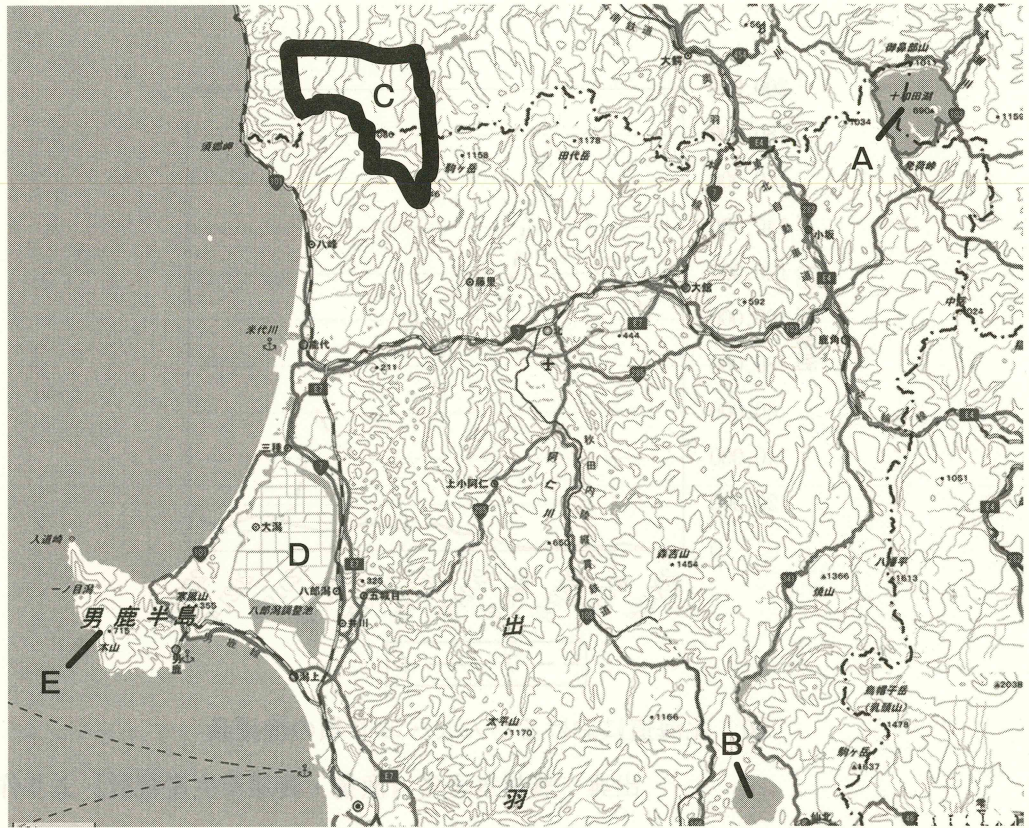
出典：農林水産省『漁業・養殖業生産統計』より作成

- (1) 図中のア・イは、さんま、ぶり類のいずれかである。図のアは何かを答えなさい。

- (2) 図のアの漁獲量は近年減少傾向に対し、イの漁獲量は増加傾向にある。その理由を、自然条件の面から説明しなさい。

- 問4 現在、日本各地の漁業者を中心に、森づくりの活動が広がっている。その理由を説明しなさい。

Ⅳ 次の地図を見て、以下の設問に答えなさい。(15点)



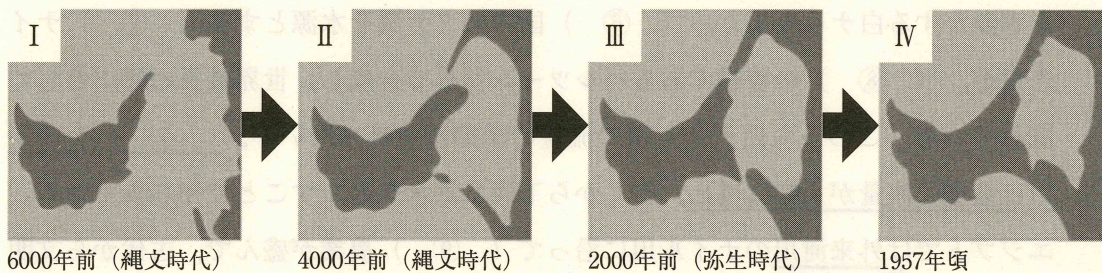
地図（国土地理院「地理院地図」より作成）

- 問1 地図中の大部分の面積を占めている県の名称を答えなさい。
- 問2 地図中のAは十和田湖である。十和田湖の地形の名称を答えなさい。
- 問3 地図中のBは日本一の水深を誇る湖である。この湖の名称を答えなさい。
- 問4 地図中の黒線で大まかに囲まれたC地域は世界遺産に登録されている。この地域の名称を答えなさい。

問5 地図中のDは、以前は大きな湖だったが、今では大潟村として陸地に変化している。Dのように海や湖など水面を陸地化する工事、事業の一般的な呼称を答えなさい。

問6 地図中のDは、以前は大きな湖だった。この湖の一般的な地形の名称を答えなさい。

問7 下の図の縄文時代からの地形の変化を参考に、かつては孤立した島であった男鹿半島Eのでき方を解答用紙の枠内で説明しなさい。



図

出典：男鹿半島・大潟ジオパークの推進協議会パンフレットを元に作成

V アフリカに関する次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。(20点)

アフリカ大陸は、先カンブリア時代の火成岩や変成岩が露出する（①）地が半分以上の面積を占めている。ただし、大陸の北部などでは、基盤岩の上に古生代以降に堆積した地層が残っている（②）地も広く分布し、全体としてはほとんどの地域が（③）陸塊に分類される。一方、新期造山帯に属する（④）山脈が北西部に位置しているが、他の大陸ほど気候に影響を及ぼすような長大な山脈は見られない。このため、アフリカ大陸では基本的に赤道を軸として、南北で気候区がほぼ対称的に変化していく。

サハラ砂漠の東部には、アフリカ最大の面積を誇る（⑤）湖に流入する河川を水源とする白ナイル川と、（⑥）国内のタナ湖を水源とする（⑦）ナイル川が、（⑧）の首都であるハルツーム付近で合流し、世界最長の河川として流れている。このうち白ナイル川の流量の季節変化は少ないが、（⑦）ナイル川は夏季に流量が大幅に増え^A、古くから下流に洪水を起こすことで知られている。エジプトでは外来河川^Bのナイル川に沿って（⑨）農業が盛んで、古代から文明が栄えてきた。

（⑩）・アルジェリア・チュニジアなどサハラ砂漠北西部の（⑪）地方などでは、地中海沿岸地域を中心に、温暖な地中海性気候のもとでオレンジなどのかんきつ類やぶどう、（⑫）などが栽培されている。

問1 文章中の（①）～（⑫）に適する語句を答えなさい。

問2 下線部Aについて、なぜ夏季に流量が増えるのか説明しなさい。

問3 下線部Bの外来河川について説明しなさい。

問4 インド洋上のマダガスカル島を、南回帰線に沿って東から西に向かって移動すると、東京⇔大阪間とほぼ同じ約400kmの短い距離の中で、気候はAf→Cw→BS→BWへと急速に変化する。アフリカ大陸とマダガスカル島を隔てるモザンビーク海峡には暖流が流れているにもかかわらず、なぜ西部の沿岸地域がBW気候となるか、理由を説明しなさい。

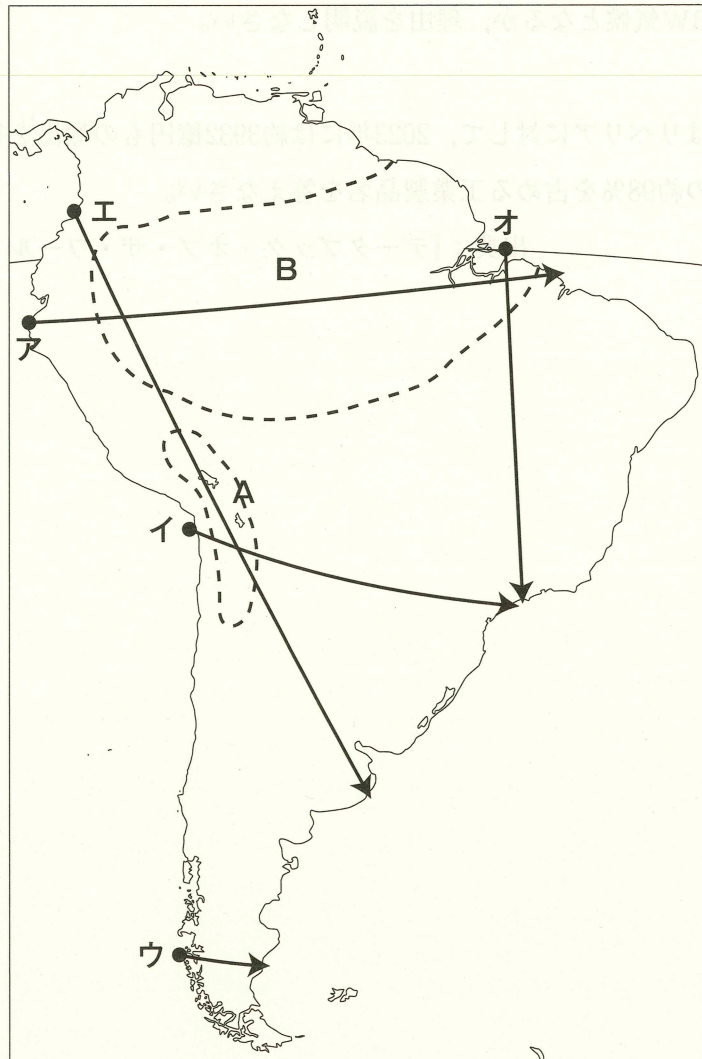
問5 日本はリベリアに対して、2023年には約3932億円もの輸出を行っている。このうちの約98%を占める工業製品名を答えなさい。

出典：『データブック オブ・ザ・ワールド 2025年版』



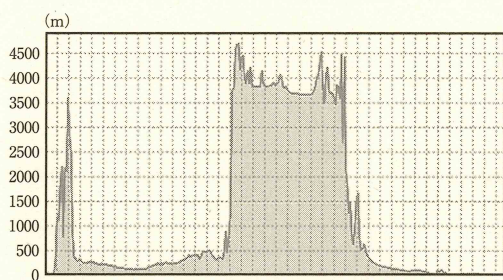
Ⅵ 南アメリカに関する以下の設問に答えなさい。(20点)

問1 南アメリカの地図を見て(1)～(3)の設問に答えなさい。

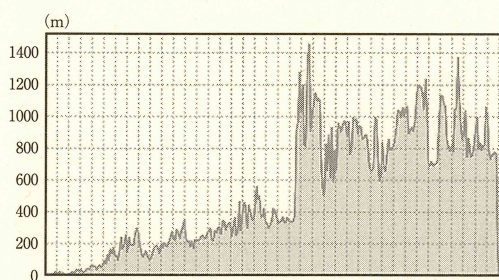


(1) 下の断面図①～⑤は、地図中の線ア～オのいずれかの断面図を示したものである。それぞれの断面図に該当するものを線ア～オから選び、記号で答えなさい。なお、地図中に示した線の丸印は断面図左端を、矢印先端は断面図右端を示す。また、丸印から矢印先端の間を300等分した各点の標高値より断面図を作成している。

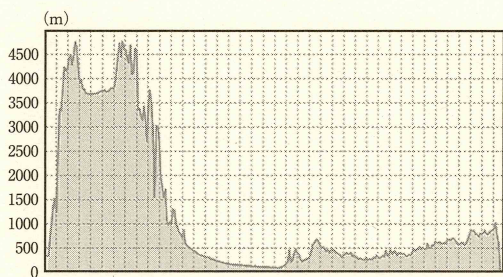
①



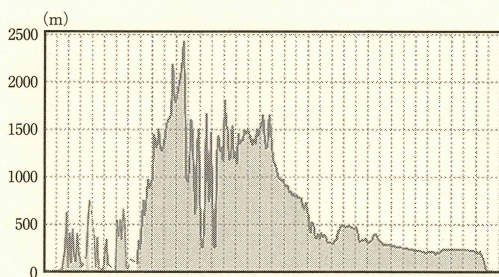
②



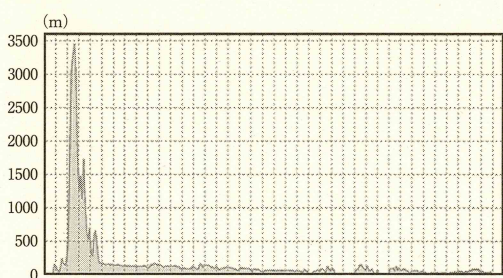
③



④



⑤



断面図は「地理院地図」より作成

(2) 地図中のA地域では塩分濃度が高い湖や塩原が見られる。このような湖や塩原が形成される自然的な要因を説明しなさい。

(3) 地図中のB地域において過度な森林伐採が進む原因を解答欄①に2つ答えなさい。また、過度な森林伐採により生じる負の影響を解答欄②に2つ答えなさい。



問2 下表は南アメリカ諸国における輸出額合計と輸出上位5品目（金額の割合）を示したものである。これに関して以下の(1)～(3)の設問に答えなさい。

国	輸出額	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
A	85億	原油	石油製品	化学薬品	鉄鋼	鉄鉱石
	ドル	85.1%	12.5%	0.9%	0.3%	0.3%
B	3397億	大豆	原油	鉄鉱石	肉類	機械類
	ドル	15.7%	12.5%	9.0%	6.8%	5.6%
C	949億	銅鉱	銅	化学薬品	野菜と果実	魚介類
	ドル	25.6%	20.6%	10.5%	8.5%	8.1%
D	311億	原油	魚介類	バナナ	石油製品	銅鉱
	ドル	30.6%	28.4%	10.0%	4.8%	3.7%
E	495億	原油	石炭	金（非貨幣用）	コーヒー豆	石油製品
	ドル	25.4%	16.2%	6.8%	6.6%	5.9%
F	668億	穀物	大豆油かす	自動車	大豆油	原油
	ドル	14.0%	11.0%	9.5%	5.9%	5.6%

出典：『データブック オブ・ザ・ワールド 2025年版』

(1) 表中のA～F国に該当する国名を あ～か より選び、記号で答えなさい。

あ アルゼンチン い エクアドル う コロンビア え チリ
お ブラジル か ベネズエラ

(2) 表中の国々の中では、特定の一次産品の生産や輸出に依存する経済体制が見られる。このような経済体制の名称を解答欄①に答えなさい。また、その経済的な負の影響について解答欄②に説明しなさい。